

佐呂間町弘報

号 場 正 所
1 行 役 長 田 所
2 行 長 集 土 刷
3 行 長 集 土 刷
4 行 長 集 土 刷
5 行 長 集 土 刷
6 行 長 集 土 刷
7 行 長 集 土 刷
8 行 長 集 土 刷
9 行 長 集 土 刷
10 行 長 集 土 刷
11 行 長 集 土 刷
12 行 長 集 土 刷
13 行 長 集 土 刷
14 行 長 集 土 刷
15 行 長 集 土 刷
16 行 長 集 土 刷
17 行 長 集 土 刷
18 行 長 集 土 刷
19 行 長 集 土 刷
20 行 長 集 土 刷
21 行 長 集 土 刷
22 行 長 集 土 刷
23 行 長 集 土 刷
24 行 長 集 土 刷
25 行 長 集 土 刷
26 行 長 集 土 刷
27 行 長 集 土 刷
28 行 長 集 土 刷
29 行 長 集 土 刷
30 行 長 集 土 刷
31 行 長 集 土 刷
32 行 長 集 土 刷
33 行 長 集 土 刷
34 行 長 集 土 刷
35 行 長 集 土 刷
36 行 長 集 土 刷
37 行 長 集 土 刷
38 行 長 集 土 刷
39 行 長 集 土 刷
40 行 長 集 土 刷
41 行 長 集 土 刷
42 行 長 集 土 刷
43 行 長 集 土 刷
44 行 長 集 土 刷
45 行 長 集 土 刷
46 行 長 集 土 刷
47 行 長 集 土 刷
48 行 長 集 土 刷
49 行 長 集 土 刷
50 行 長 集 土 刷
51 行 長 集 土 刷
52 行 長 集 土 刷
53 行 長 集 土 刷
54 行 長 集 土 刷
55 行 長 集 土 刷
56 行 長 集 土 刷
57 行 長 集 土 刷
58 行 長 集 土 刷
59 行 長 集 土 刷
60 行 長 集 土 刷
61 行 長 集 土 刷
62 行 長 集 土 刷
63 行 長 集 土 刷
64 行 長 集 土 刷
65 行 長 集 土 刷
66 行 長 集 土 刷
67 行 長 集 土 刷
68 行 長 集 土 刷
69 行 長 集 土 刷
70 行 長 集 土 刷
71 行 長 集 土 刷
72 行 長 集 土 刷
73 行 長 集 土 刷
74 行 長 集 土 刷
75 行 長 集 土 刷
76 行 長 集 土 刷
77 行 長 集 土 刷
78 行 長 集 土 刷
79 行 長 集 土 刷
80 行 長 集 土 刷
81 行 長 集 土 刷
82 行 長 集 土 刷
83 行 長 集 土 刷
84 行 長 集 土 刷
85 行 長 集 土 刷
86 行 長 集 土 刷
87 行 長 集 土 刷
88 行 長 集 土 刷
89 行 長 集 土 刷
90 行 長 集 土 刷
91 行 長 集 土 刷
92 行 長 集 土 刷
93 行 長 集 土 刷
94 行 長 集 土 刷
95 行 長 集 土 刷
96 行 長 集 土 刷
97 行 長 集 土 刷
98 行 長 集 土 刷
99 行 長 集 土 刷
100 行 長 集 土 刷

“新年の御挨拶”

町長 船木長一郎

町民の皆様明けましておめでと御座居ます

希望にみちた昭和三十三年の新春を迎え心から慶賀にあえま

年のにはじまりにあたり新年の希望に向つて再出発する前に過ぎ去つた一年を顧みれば昨年程の内外を通じ多事多難な事はありません

国際的には国民希望の日ソ復交の批准が成立し抑留邦人は終戦後十二年目の正月を懐しの故郷で迎えさぞかし感慨無量のものでありましてせう

望みをかけた領土の復帰は今後に残された問題ではあります

再開、漁業の安全操業等国内産業の伸長に裨益する点極めて多く対米一偏倒な日本経済に清新の活力を与え

然し反面的には極端な共産主義思想の勃興や一部農産

物例へば豆類、亜麻等は生

産原価の低廉は日本の追従

を許さない為政府の強力な

輸入調整が国内生産物に對する保護政策のない限り価格の低値を招来するであります

又国際連合加盟については漸く実現を見今後国際場裡に日本の進出が大きく期待されますが国民個々の自覚こそその根本でありかつてマツカーサ元帥が帰国に際し日本人は凡ゆる角度から十二才の童人であると公言した事に深く想を致し、かかる国民的恥辱は国力の倍養によつて自ら世界に日本民族の真価を評価させるべきであります

国内的には新内閣の誕生により国民的期待も変つた面から寄せられておりますが政界の安定が未だ遠く最も近い将来に国会の解散も想像される要因も決して少な

高集略の指定を見るに及び更に新農山漁村建設地指定も本年に期待をもつておりこの機会に全町的な組織を動員し生産に對する町是を確立し以つて各組織が町是の速やかな完成に希望をもつて精進できる系統的機構を作りたし所存であり一層の御支援御協力を切望致します

旧佐呂間、若佐兩町村の合併も実現し新佐呂間町を

皆さんあけましておめでと御座居ます

麗かな初日の出と共に希望に満ちた昭和三十三年の新春を迎えました事を必からお祝い申し上げます

過ぎし昭和三十一年を回顧しますとき、国ないのに国際的に將又我が佐呂間町にとつても誠に多事多難な年でありました

も大きな出来事は住民多年の懸念でありました町村合併と、大正以来四十年余希にみる冷害凶作でありました

昭和二十三年分村以来盛盛発展を遂げて来ましたが若佐村が再び母町と合併、新佐呂間町として大飛躍

誕生せしめた、御支援に衷心感謝を申し上げ新春を契機として各般の建設計画を強力に推進合併の真価発揚に最善を盡し町民福祉の増進に寄与する覚悟で御座居ますので一層御鞭撻を御願ひ上げます

昭和三十三年の年頭に当り所懐の一端を申し上げ皆様の御多幸を祈つて御挨拶と致します

“年頭の挨拶”

町議会議長 山内 春 芳

皆さんあけましておめでと御座居ます

麗かな初日の出と共に希望に満ちた昭和三十三年の新春を迎えました事を必からお祝い申し上げます

過ぎし昭和三十一年を回顧しますとき、国ないのに国際的に將又我が佐呂間町にとつても誠に多事多難な年でありました

も大きな出来事は住民多年の懸念でありました町村合併と、大正以来四十年余希にみる冷害凶作でありました

昭和二十三年分村以来盛盛発展を遂げて来ましたが若佐村が再び母町と合併、新佐呂間町として大飛躍

誕生せしめた、御支援に衷心感謝を申し上げ新春を契機として各般の建設計画を強力に推進合併の真価発揚に最善を盡し町民福祉の増進に寄与する覚悟で御座居ますので一層御鞭撻を御願ひ上げます

昭和三十三年の年頭に当り所懐の一端を申し上げ皆様の御多幸を祈つて御挨拶と致します

皆さんあけましておめでと御座居ます

麗かな初日の出と共に希望に満ちた昭和三十三年の新春を迎えました事を必からお祝い申し上げます

第一回町議会開催

定例

第一、一般會計

●才入の部(単位千円)

町税三〇、〇九八 地方交付税七、〇〇一 公營企業及財産収入 六、四九三

使用料及手数料三、四二七 国庫支出金二、一六六 道支出金二、〇五七 寄附金二三五 繰越金二七〇 雑収入一、二九〇 町債九、五〇〇 才入合計七二、五三七

●才出の部 議會費一、一三 役場費一一、九四七 消防費三、〇四五 教育費一九、九一〇 土木費一四、六五八 社会及勞務施設費二、九三二 保健衛生費五四三 産業經濟費三、五三〇 財産費一、二九七 統計調査費三九 選挙費三〇一 公債費九、五六五 諸支出金三、八二二 予備費二七五 才出合計七二、五三七

●才入の部 国民健康保険税四、一二〇 使用料及手数料六 国庫支出金三、五三〇 繰越金一、七〇 雑収入一、二町債一、二〇〇 才入合計一〇、〇三八

●才出の部 役場費六四六 保険給付費五、八六四 保険施設費九、〇病院費二、二〇四 公債費三四、〇 諸支出金八四二 予備費五二 才出合計一〇、〇三八

三、特別會計国民健康保

...

御協力をいただき又岸本、
片平兩ふとん店さんには綿
打ちの無料奉仕をいただき
た旨承り厚く御礼申上げま
す

歳末たすけあい義捐金品地区別配分表

郡	落	名	衣料品	布	団	現 金	学用品	食 料 品	その他	備	考
部佐	呂東	間	82点	1枚		3,000円		濃粉 1貫			
			25	1		1,300					
西		富	57			2,700		" 1貫			
			46			2,700					
知		来	184			5,900		" 1貫			
仁		会	82	1		4,900					
浜	佐	間	189			6,400		" 1貫320匁			
幌	呂	岩	99	2		6,200	20				
浪		速	56			1,600	21				
富	武	土	113	2		3,600			お茶1		
若		里	92	1		1,500					
朝		日	85	1		4,600					
富		丘	54			2,600					
武		土	63	2		3,400					
若		佐	59			900					
枡		木	129	1		4,300					
川		西	132	1		5,600					
中		園	22			1,300					
啓		生	22	1		800					
	栄		18	1		700					
大共		成	79			4,700					
		立	114			5,600					
計			1,802	15		74,300	41	4貫300匁			

現金残 1,225円は配分の都合上町社会福祉協議会の雑収入にしましたから御了承

見舞はれ
深くこな
ほんとう
に冷えき
つた歳の
くれを迎
えました
が皆さん
の温い
御協力に
より「み
んなで明
るいお正
月を迎え
る」こと
のでぎま
したこと
を重ねて
お礼申上
げます

註 町
ではたす
けあい義
えん金と
一しよに
歳末慰問
金として
一人当百
円「七万
四千三百
円」を支

ばいつでも申込に応じま
妻の選種と種子消毒。
乾草の作り方。尿素の
葉面散布

10 本係関化文較一及物劇		31 本		のもるす関に学科庭家	
土と共に・税のゆくえ ・公民館をどのように 運営するか・遺伝の話 ・恩讐の被方に・東京 ・北海道吏1(大昔の 北海道)・北海道吏2 (開拓のめばえ)・北 海道吏3(進む開拓) 北海道吏4(進む開拓)		農業期の栄養生活改善 グループの記録・気象 と産業・高・気圧と低 気圧・天気予報・こと もは少なく		星・月と太陽・月の世 界・僕の気象観測・植 物の成長・昆虫の生活 ・電気・害虫・水力電 気・電熱の知識・家庭 電気の取扱・猫の目 の目・耳の科学・血液 の話・ムシ歯の話・お なかの虫・かい虫・伝 染病・発疹チブス・我 輩は結核菌・蚊・正し い受胎調節・地球と太 陽・仕事と栄養・何を どれだけ食べたら良い か・牛乳のはたらき 農業期の栄養生活改善 グループの記録・気象 と産業・高・気圧と低 気圧・天気予報・こと もは少なく	

共同聴取でお知らせ致しますから御注意願ひます。
③教育短編映画が希望に
応じ実費程度で開催出来ま
す
若佐公民館が札幌、アメ
リカ文化センターの分室に
指定されていることにより
毎月実費程度の安い実費で
教育短編映画を開催するこ
とができます。くわしいこ
とは教育委員会或は最寄の
学校長さんにおたづね下さ
い
●一月分公民館備付教育
映画番組
打撃王(三巻) インター
ナショナルハウス(一巻)
合衆国バファローズ(二巻)
(農業改良普及員(二巻)ア
メリカの農業大学(二巻)ハ
イチの美術教室(二巻)民間
航空の話(三巻)サンブソン
夫人(二巻)映画でみる雑誌
オ六集(一巻)絵を書く子供
たち(二巻)アメリカの国立
美術館(二巻)これらのフィ
ルム中五巻以上を単位に上
映希望申込ができます
開催可能期間は一月五日よ
り十四日迄の間となつて居
ります
④実生活に役立たせて頂
くための参考パンフレット
を作成は布して居ります
1、おすすしたい不作

時の食べ物
お米をつかわぬ農村食の
作り方
既にはい布した残部五〇
部、特に希望の方は教育委
員会に申出て下さい
2、使つて便利、保健食
食品はい合表(二人一日分)
残部五〇部
3、使つて便利食物の目
ぶん量表、残部五〇部
4、有害対策資料(家庭
経済篇)
この凶作の年をどう切り
抜け来年の営農準備をどう
したらよい
町弘報と共に農家全戸に
はい布予定
⑤その他について
以上は新規に予算を伴はな
い面についてのみの事業拡
張ですので今後の公民館事
業に対する御意見御希望を
おまち致します
尚この外予定している事
に若佐地区にある野幌高等
酪農学校分校の講座につい
て一月下旬頃に兩地区の一
般農家の方々婦人の方々に
酪農講座、家庭講座として
開放する予定でありますの
で御期待下さい

農困期に女性の生活
技術を身につけよう
半歳近くも雪にうづもれ
る農困期に女性必須の生活
技術(洋裁科、和裁科)一
般教養(社会科、家庭科)

●正月の社会教育だより●

正月の社会教育生活ごよみ

社会行事		会場		生活目標	
新年交礼会 (元旦)		各地区任意		今年の生活の目 標を作りましょ う	
新町青年大会 (五日)		若佐公民館		熱を有効に使い ませう	
佐呂間高校芸能祭 (六日昼夜予定) (六日昼夜予定)		若佐公民館		ハエと家ネズミ をなくしましよ う	
町内成人祭 (十五日佐呂間地区) (十六日若佐地区) (十六日若佐地区)		国際劇場 若佐公民館		スガモリと屋根 の雪による災害 を防ぎましょ う	
全国青年週間 (十二日十八日)		留辺蘂町温 湯		戸外の自然に親 しみ体力増強を はかりましょ う	
管内婦人講習会 (十七、十八日)		兩地区		1、正月の不規則な欠費生活をいましめま しょう 2、スキー、スケート、そり等に子供達の体 力増強をはかりましょ う	
公民館巡り映画会 (三十日より)		兩地区		1、家族との話し合いで一ヶ年の生活計画を作 りましょ う 2、家計簿農家簿記をつけるようにしまし う	
学校巡回映画 (中旬)		兩地区		目標達成のための実践活動	
酪農講座 (中旬)		兩地区		1、燃料を上手に使いましょ う 2、燃料資源を大切にしまし う	
家庭講座 (中旬)		兩地区		1、越冬バエを駆除しまし う 2、家ネズミを駆除しまし う	
各学校冬季休業終 (二十日)		兩地区		1、屋根の雪おろしをしまし う 2、あたたかい空気が天井から逃げないよう に工夫しまし う	
家族のたんじよ日 日…………… 日…………… 日……………		祖先をはじめ仏様の命日 日…………… 日…………… 日……………			

1、この表は切り取つてコヨミの下にはつておきましよう
2、たんじよ日と命日はそれぞれ書きこんでこの日には何か意義のあることを工夫しましよう
を自ら学んで身につけよう
町教委では例年通り旧佐
呂間町七ヶ所の高等技芸学
校と旧若佐四ヶ所の洋裁女
学校を既に十二月一日より
開校して授業を続けている
が引続き一月七日頃の正月
の陣容を揃えてかんべきを
しますから最寄の学校長に
申込の上通学して下さい
優秀な専門講師と教科講師
の陣容を揃えてかんべきを